

(研究報告) 抄録用紙

演題名 (全角 80 字以内)	在宅医療におけるインシデント・アクシデント
演者名	大浦卓実 高久仁利
所属	医療法人社団孝徳会孝仁クリニック

研究方法 (右から番号を選び NO. 欄に番号をご記入ください)	1. 症例報告 2. 症例シリーズ報告 3. コホート研究 4. 症例対照研究 5. 調査研究 6. 介入研究 7. 二次研究 8. 質的研究 9. その他研究	NO.
		2
<p>目的 医療行為を行うにあたり、医療従事者側の説明不足や、患者、家族側が指示を十分理解していない為、重大な事態を招くおそれがある。当クリニックで発生した事象を、検証してみた。</p> <p>方法 症例：COPD、高血圧の 85 歳女性。毎日ツロブテロールテープ 2 mg 1 枚を貼り換えるように前医より指示され、胸痛発作時使用する為にニトロダーム TTS を処方されていた。同居の長男の嫁より「数日前から胸痛がある」と連絡を受け緊急往診すると、胸部にツロブテロールテープ 2 mg が合計 8 枚貼付されており、血圧 180/105、脈拍数 101 回/分、血中酸素飽和度 88% (ルームエアー) であった。すぐに全てのツロブテロールテープを剥がし、紹介元病院に救急搬送。入院 16 日目に永眠。</p> <p>他にも類似した問題症例を経験している。</p> <p>考察 症例の患者様については、胸痛発生時等の初期にスムーズな往診依頼がなかったことが問題である。体調不良時には連絡をするように指示していたが、介護サービスを何も使っておらず、長男の嫁以外に関わっている人がいなかった為、往診依頼のタイミングが分からず、医師への連絡が遅れたと考えられる。家族の理解力や性格等を把握した上での説明が不十分な為、薬剤についても正しく理解できていなかったと思われる。</p> <p>在宅医療の現場では、医療者は患者を通して家族とも接しており、介護者である家族の理解力を見極めることが重要である。訪問看護師や薬剤師、ケアマネージャー等の協力を仰ぎ、患者のみならず、家族の影響についても情報を得て、できるだけ早期に、家族とのスムーズな対話ができるように心掛けたい。</p>		